

# 平成22年度事業活動の概要報告

昭和32年に設立された財団法人神戸大学六甲台後援会は、平成23年度より、公益財団法人神戸大学六甲台後援会として新たな歩みを始めました。旧法人の最終年度に当たる平成22年度（平成22年4月1日～平成23年3月31日）の事業報告及び財務諸表につきましては、平成23年6月6日に開催された新法人の理事会及び6月15日に開催された評議員会において監査報告書を含めて報告・承認されたところですが、ステークホルダーの皆様方に当財団の活動内容をご理解いただきたく、ホームページ上で、(1)学術交流促進・研究成果公開助成事業（学術交流の促進と研究成果の公開に係る助成事業）、(2)教育の充実・学術基盤整備助成事業（教育の充実と学術基盤整備に係る助成事業）、(3)学術交流施設（「ロイ・スミス館」）の維持管理事業という、本財団が行う主要な事業の別に、その内容の概要について、財務諸表（貸借対照表と正味財産増減計算書）の要旨と併せて、ご報告します。

特に平成22年度では、学術交流の促進や研究成果の公開、教育の充実に係る助成事業を継続して実施するとともに、六甲台講堂改修を支援するために、昨年度に引き続き、学術基盤整備に係る助成事業の一環として5千万円（計1億円）を支出いたしました。

また、公益財団法人への移行手続を円滑に実施するために、財団内に設けました公益認定対応委員会を中心に作業を進め、年度内に兵庫県より移行認定を受け、平成23年4月1日に公益財団法人としての登記を完了することができました。作業に関わられた財団内外の関係者の皆様に厚く御礼申し上げる次第です。

## I 事業報告の概要

（金額は千円未満四捨五入）

1 学術交流促進・学術成果公開助成事業（ただし、付帯経費を除く）	22,695千円
1-1 学術交流の促進	19,787千円
(1) 海外研究活動支援（海外研究活動や海外学会派遣等への助成）	17,171千円
○経済学研究科	(3,900千円)
・松林洋一教授（平成22年8月～平成23年3月、アメリカ）	
目的：グローバル・インバランスの研究に関する打合せと資料収集	
・藤岡秀英准教授（平成23年3月～6月、ドイツ他）	
目的：ドイツ・フランス・イタリア等の社会福祉施設の調査ならびに介護保障に関するヒアリング調査	
・橋野知子准教授（平成23年5月～8月、イギリス他）	
目的：産業集積の形成・発展史からみた日本の繊維産業—欧米との比較経済史—研究のため	
○経営学研究科	(5,742千円)
・後藤雅敏教授（平成22年7月～8月、アメリカ）	
目的：アメリカ会計学会への参加及び資料収集	
・北川教央准教授（平成22年7月～8月、アメリカ）	
目的：アメリカ会計学会への参加及び研究発表	
・内田 浩史准教授（平成22年8月、イギリス）	

目的：ヨーロッパ経済学会学会報告及び情報収集

- ・宮原泰之准教授（平成23年3月～7月、アメリカ）

目的：繰り返しゲームに関する研究打合せ及び資料収集

- ・馬 岩准教授（平成23年3月～平成24年3月、アメリカ）

目的：人的資本の分布が経済成長及び貿易に与える影響に関する共同研究

○法学研究科 (3,920千円)

- ・櫻庭涼子准教授（平成22年8月～平成23年6月、イギリス）

目的：労働法に関する研究

- ・角松生史教授（平成22年12月～平成23年1月、ドイツ）

目的：アカウントビリティに関する資料収集・研究打合せ及び港湾開発に関する現地視察

○国際協力研究科 (1,109千円)

- ・橘 永久准教授（平成23年3月、ラオス）

目的：複数通貨並行流通の費用・便益分析—ラオス現地調査データに基づく分析—

- ・パンパキット・オンパンダラ助教（平成23年2月～3月、オーストラリア他）

目的：経済統合の課題—後発アセアンの事例—についての研究

○経済経営研究所 (2,500千円)

- ・趙 来勳教授（平成23年1月～8月、アメリカ）

目的：WTO交渉についての研究

- (2) 学会・シンポジウム等開催支援（国内学会・国際学会・シンポジウム・フォーラム・セミナー・ワークショップ等開催への助成）・・・・・・・・・・2,616千円

○経済学研究科 (1,566千円)

- ・神戸大学・漢陽大学・経済金融大学校第8回共同研究発表会

（平成22年5月28日、参加者数19名）

テーマ：労働市場の新潮流と持続可能な成長

- ・日本金融学会2010年度秋期大会（平成22年9月25日～26日、参加者数330名）

テーマ：危機下のユーロ

○経営学研究科 (750千円)

- ・水資源研究ワークショップ（平成22年9月8日、参加者数19名）

テーマ：水資源及び水道経営に関する共同研究と水道経営に関する討論

- ・日本社会関連会計学会第23回全国大会（平成22年11月20日～21日、参加者数100名）

テーマ：サステナビリティ会計の展開

- ・第21回シンポジウム（平成22年11月28日、参加者数100名）

テーマ：グッド・レピュテーション企業の条件

○国際協力研究科 (300千円)

- ・第46回日本比較教育学会全国大会（平成22年6月26日～27日、参加者数439名）

テーマ：比較教育と国際教育開発

## 1 - 2 学術成果の公開・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2,908千円

- (1) 学術研究成果刊行支援（学術研究成果刊行への助成）・・・・・・・・ 2,400千円

○経済学研究科 (2,400千円)

- ・重富公生著『産業のパクス・ブリタニカ：1851年ロンドン万国博の世界』勁草書房

- ・金京拓司著『為替レート制度選択の経済分析』東洋経済新報社

- (2) 海外学術雑誌投稿支援（海外学術雑誌投稿への助成）・・・・・・・・・・ 508千円  
 ○経営学研究科 (508千円)  
 ・教員の研究論文海外投稿支援（4名）  
 出井文男教授、原田 勉教授、三古展弘准教授、松嶋 登准教授

**2 教育の充実・学術基盤整備助成事業（ただし、付帯経費を除く） 73,298千円**

**2 - 1 教育の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18,689千円**

- (1) 社会科学特別奨励賞・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10,239千円  
 （経済学部・経営学部・法学部の学部学生（2年生～4年生）、及び経済学研究科・経営学研究科・法学研究科・国際協力研究科の大学院学生（博士課程前期課程（法学研究科にあつては専門職学位課程を含む）の成績最優秀者への奨学金支給）
- (2) 社会科学特別奨励賞・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3,506千円  
 （経済学研究科・経営学研究科・法学研究科・国際協力研究科の大学院学生（博士課程後期課程）の海外研究活動支援）
- (3) 相互履修科目開講支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1,114千円  
 他学部学生向け増設専門講義科目  
 経済学部：エッセンシャル・ミクロ経済学、エッセンシャル・マクロ経済学  
 経営学部：エッセンシャル経営学、エッセンシャル会計学  
 法学部： エッセンシャル民法、エッセンシャル商法
- (4) 田崎奨学基金による奨学金支給（2名）・・・・・・・・・・・・ 200千円
- (5) 大学院学生に対する支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2,607千円  
 ○経済学研究科 (1,635千円)  
 ・久研究奨学基金による海外研究活動支援（2名）
- 法学研究科 (1,995千円)  
 ・大学院学生の海外研究活動支援（6名）  
 ・エクスターンシップ実施支援（59名）

**2 - 2 学術基盤の整備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 54,610千円**

- (1) 六甲台講堂改修事業に対する助成・・・・・・・・・・・・・・ 50,000千円  
 (2) 中山正實画伯油彩画（附属図書館展示）保存修復費用等・・・・・・・・ 4,610千円

**3 学術交流施設維持管理事業（ただし、付帯経費を除く） 1,089千円**

- (1) 学術交流施設（「ロイ・スミス館」）の維持・管理・・・・・・・・・・ 1,089千円